

## 「ふるさと『けいせん』プロジェクト」

桂川小学校校長 合澤 博之

「桂川町は、自まんがいっぱいあります。人に優しい町です。」

これは、本校の5年生が総合的な学習の時間に書いた感想です。

桂川町では、幼稚園・小学校・中学校が一つになって、「ふるさと『けいせん』プロジェクト」をすすめています。このプロジェクトは、幼稚園から中学校までの学習を通して、「桂川町に愛着と誇りを持つ人」「周りの人と共に地域に貢献しようとする人」を育てようとする取組です。

このプロジェクトの中で、これまで桂川小学校の子ども達は、桂川町の自然や様々な施設、環境や伝統文化を学んだり、地域で働く人達と触れ合ったりする学習をすすめてきました。ところが、昨年度から、今年度にかけて、新型コロナウイルス感染症の影響で、施設の見学や地域の方との触れ合いを伴う学習の計画の変更を余儀なくされました。

6月下旬に緊急事態宣言が解除された以降は、子ども達の学びを止めないために、学校行事や水泳学習等、三密を回避する工夫の中で、可能な限りの

教育活動を行っています。先日は、2年生が桂川消防署、4年生が桂苑のこみ処理施設を見学させていただきまし



▲2年生の消防署見学の様子

体験を通して学ぶ時、子ども達の表情は、ひととき輝きます。

「ふるさと『けいせん』プロジェクト」の取組で、教室の中だけではなく、「けいせん」という大きな学校の中で、様々な人に交流し、生き方に触れます。その中で、「桂川が大好きで、桂川のために役に立つ人になりたい」と思う心が育っていきます。

## 縦割り掃除、英語学習

桂川東小学校校長 金田 泰弘

本校には、1年生から6年生までが混ざって行う縦割り掃除があります。協力して学校中をきれいにしていくことはもちろん大切ですが、真のねらいは、6年生、5年生がリーダー、サブリーダーとしての自覚をもつこと。自分たちで主体的に進められること。1〜4年生に掃除の仕方をわかりやすく教えられることです。6年生が、特に気をつけて進めていることは、

- ① 1年生と高学年が組むなど、ペアリングをよく考える。
- ② 指示を分かりやすくはつきりと伝える。
- ③ 掃除の進行具合をよく把握する。

の三つです。このように頑張る高学年の姿を見て、1〜4年生はあこがれや尊敬の気持ちをもちます。今年は運動会でも、一昨年度までのようにこの縦割りを生かしていきます。

「失敗を恐れずチャレンジできる子ども」の育成。これは、本年度の本校の重点目標の一つです。英文を声に出して読んだり、英語で友だちや先生と話したりすることは、正に子どもたち

にとって大きなチャレンジです。一期の英語学習では、6年生は、ALTに学校行事を英語で紹介しました。「I have」を使い、自分のタブレットで映像を確認しながら、分かりやすく効果的な発表を行いました。5年生は、「I can」「I like」を使って、自分をアピールしながら自己紹介が上手にできました。3・4年生は、ALTの生の英語を聞くことにとても興味を示し、英語で数を数えながら行うゲームでは、とても楽しみながら活動しました。英語の学習を通して、外国や外国の人たちに興味を持ち、積極的にコミュニケーションをとることに挑戦してほしいと思います。



▲1年生～6年生が協力して掃除を行う様子